

令和4年6月12日

卓球部顧問・指導者の皆様へ

高校3年生卓球部員のみなさんへ

東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長

東京都立野津田高等学校 平 雅行

大会参加者へのお礼

みなさんこんにちは。東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長、東京都立野津田高等学校の平雅行です。

お陰をもちまして、4月から6月の3箇月間にわたり、東京都春季卓球大会、東京都高等学校総合体育大会を開催することができましたこと感謝申し上げます。

多くの高校3年生の卓球部員は東京都高等学校総合体育大会が高校生活最後の大会になったかと思います。また2年前、コロナ禍での大変な高校生活のスタートで入学式もできず、関東大会やインターハイが中止になったことに伴い、その予選会でもある東京都春季卓球大会と東京都高等学校総合体育大会も中止になりました。そして最初の大会は夏休みに行われたTokyo Thanks Matchでしたが、参加人数に制限を設けましたので秋に行われた新人大会が高校生活最初の大会になった選手も多くいたことと思います。

昨年度は予定していた多くの大会を開催することができましたが、春季大会と都総体のダブルスを一本化したり都総体シングルス的人数制限をするなど縮小して開催しました。そして、高校3年生が最後のシーズンとなった今年度の大会は、なんとか参加人数の制限を設けずに開催することができました。

この3箇月間、特に高校3年生たちは持てる力を存分に発揮してくれ、思い出に残る大会になったのではないかと考えております。そして、各会場では多くの先生方や高校生のみなさんから大会開催に対しての感謝の言葉をいただき、我々役員がみなさんから力を頂戴しました。ありがとうございます。

卓球部顧問・指導者の皆様におかれましては、何よりも部活動に一所懸命に取り組んできた生徒のことを思い、次の目標を定めながら前向きで活力のある高校生活を過ごすことができるようにご指導、ご支援をお願いいたします。

最後に、『人間青山（じんかんせいざん）』という幕末の僧、月性の言葉を3年生の卓球部員に送ります。これは、「人間致処有青山（じんかんいたるところせいざんあり）」を略した四字熟語ですが、「大望を果たすために、故郷を出て大いに活躍すべきである。」「人間はどこに行っても、強い意志のもと、きちんと生きていける。」という意味でもあり、幕末の志士の精神的支えとなりました。みなさんがこれから大いに活躍できるように願い、この言葉を紹介しました。今後のご健闘をお祈りいたします。